

エレベータージャーナル

# ELEVATOR JOURNAL

No. 25

2019年7月発行

㊤ 一般社団法人日本エレベーター協会

## CONTENTS

● クローズアップ

ザ・キタノホテル東京  
シェラトン都ホテル大阪  
渋谷ソラスタ  
ダイヤゲート池袋

● 海外物件紹介

台北南山広場

● 技術講座

小規模建物用小型エレベーター向け  
使用回数表示機能の開発

● 昇降機業界で活躍する女性の紹介

エレ小町 No.22

● 昇降機業界で活躍する男性の紹介

エレ侍 No.5

● 読者からの寄稿

ミスターEのアメリカエレベーター情報  
第8回「アメリカンエレベーター病」後編

● 昇降機 Column<sup>㊤</sup>

“動く歩道”の生い立ちなど 一俳句と、  
マンガと、輸送量—

● 編集後記

クローズアップ



建物外観

# ザ・キタノホテル東京

中 里 久 雄

(Hisao Nakazato)  
フジテック株式会社  
首都圏統括本部  
東ジョブ統括部

## 1. はじめに

格式と革新性をあわせ持つ日本の中心地で、往時は江戸城の外郭門内に位置した由緒ある場所の平河町に、「ザ・キタノホテル東京」が2019年4月9日に開業しました。

かつてここには、多くの政財界人や文化人に愛されたアパートメントホテル「北野アームス」がありました。

「ザ・キタノホテル東京」は、建物内部の吹抜けに孟宗竹(もうそうちく)のアトリウムを配置するなど、斬新なデザインに和のゆかしさを感じていただけるような空間になっています。

また、2階には茶室を兼ねた「ティーラウンジ」があり、現代風書院の床の間にはつねに季節を意識した書画が掛けられ、「和敬清寂」の設えを堪能していただけます。

## 2. 建物概要

所在地：東京都千代田区平河町二丁目16番15号

建築主：北野合同建物株式会社

設計監理：株式会社 竹中工務店

施工：株式会社 竹中工務店

建築用途：ホテル

敷地面積：1,106.66㎡

建築面積：877.71㎡

延床面積：7,687.48㎡

構造：RC造、S造、SRC造

階床数：地下2階、地上9階

建屋高、軒高：39.67m

工期：2017年7月～2019年2月

竣工日：2019年2月15日

開業日：2019年4月9日

## 3. 昇降機設備

昇降機設備は、乗用エレベーター2台、人荷用エレベーター1台の計3台が納入されています。

乗用エレベーターの乗場意匠は、ニッケルシルバーのカラーステンレスショット仕上げを採用し、モダンでかつ日本的な雰囲気のエレベーターホールとの調和をはかっています。

かご内の壁は、乗場と同じニッケルシルバーのカラーステンレスショット仕上げ及びホテルダイニングの引き戸にも採用されているメッシュアートの構成しています。また、背面壁両端に配置されたガラスは、横から光をあててガラス全面を光らせる仕組みとなっています。

かご天井は、全周をフラットバーで構成することでシャープな印象を与え、その周囲を間接照明の光で照らすことにより、温かみを加えた作りになっています。

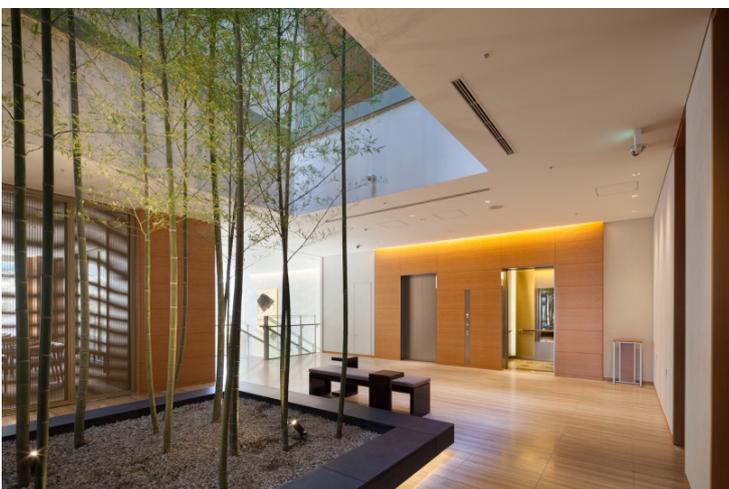
クローズアップ



乗用エレベーター 1階乗場



乗用エレベーター かご内



乗用エレベーター 2階乗場



乗用エレベーター かご内

エレベーター仕様 (計3台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
1	乗用	インバータ	群乗合全自動方式	1150	17	105	1	9 (B1、1～8)	フジテック	車いす仕様
2	〃	〃		1150	17	105	1	10 (B1、1～8、R)		〃
3	人荷用	〃	乗合全自動方式	1600	24	90	1	11 (B2、B1、1～8、R)		

クローズアップ



建物外観

# シェラトン都ホテル大阪

小林 正 康

(Masayasu Kobayashi)

三菱電機ビルテクノサービス株式会社  
関西支社 営業部

構 造：S造  
工 期：1978年8月から1985年10月  
竣 工：1985年10月

## 1. はじめに

シェラトン都ホテル大阪は1985年10月に「都ホテル大阪」として開業しました。建物は日本を代表する建築家の1人である村野藤吾氏の最晩年の作品で、近畿日本鉄道大阪上本町駅のターミナル整備計画の一環で、同駅と隣接する21階建ての高層ビルとして建設されました。

2007年4月に世界的に名高い高級ホテル、シェラトンブランドのホテルとしてリニューアルし、「シェラトン都ホテル大阪」として新たなスタートを切っています。

アクセスの良さから移動や買い物にも大変便利で、ホテル内にはホテル屋内としては最大級の温水プールや各種トレーニングマシンを導入したシェイプアップルーム、ゆったりとしたバスルームも完備され、気軽に体を動かすことも可能です。

この度、同ホテルのメインとなるお客様用エレベーターの改修工事を行いました。

## 2. 建物概要

所在地：大阪市天王寺区上本町六丁目1番55号  
 建築主：近畿日本鉄道株式会社  
 設計者：村野・森建築事務所  
 施工者：大林組・大日本土木共同企業体  
 建築用途：ホテル  
 階数：地下1階、地上21階  
 建屋高、軒高：78.548m  
 敷地面積：27,400㎡  
 建築面積：9,700㎡  
 延床面積：69,606㎡

## 3. 昇降機設備

昇降機設備として、14台のエレベーター、7台のエスカレーターが設置されています。1985年の竣工から本年(2019年)まで34年が経過していますが、2017年にはエスカレーター7台の改修が完了しています。

今回改修したお客様用エレベーター4台は、2017年2月から改修工事を開始し、2018年10月に工事を完了しました。

今回の改修工事では、かご室の更新に伴い意匠デザインを変更し、大きくイメージチェンジを果たしました。

改修後のかご室は、海外からのお客様も多く宿泊されるホテルであることから、和の趣きを演出するため壁下部に天然木を採用しました。また、壁上部には、リアルさを追求し木の導管まで表現した化粧シートを横目に使用することで、上品さを際立たせたデザインとしています。

同様に手摺にも天然木を使用し、壁と壁、壁と鏡を区切る目地には、それぞれカラーステンレス(ブラック)のヘアライン仕上と鏡面仕上を採用し細部にこだわり抜いたかご室となっています。

床にはタイルの下に防音、緩衝機能があるシートを敷くことにより、キャリーバックの音や足音が響かないよう工夫し、静粛な空間を創出しました。

天井は、間接照明とダウンライトを採用することによって落ち着いた雰囲気を出し、長旅で疲れたお客様を癒します。

乗場の三方枠は流用し、新しい扉にはステンレスエッチングを採用しました。ホールランタンは丸型から長方形型に変更し、また光源をLED化したことで明るく見やすくなりました。

クローズアップ



かご内 (車いす仕様背面壁側)



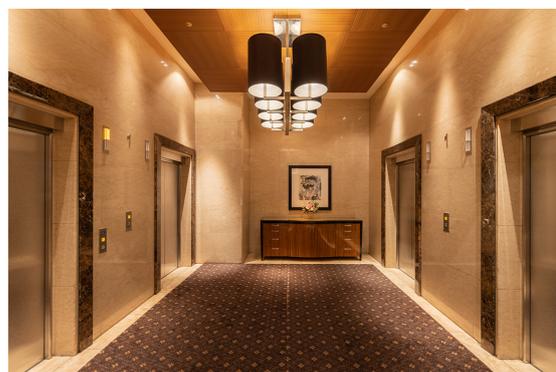
かご内 (車いす仕様側壁側)



乗場から見たかご室



20階乗場



1階乗場

**クローズアップ**

**【エレベーター仕様及び台数】**

昇降機設置状況 (エレベーター 14 台、エスカレーター 7 台)

	メーカー	台数	備考
お客様用 エレベーター	三菱	4 台	今回改修
従業員用 エレベーター (小荷物専用含む)	三菱	3 台	内 1 台改修済み
	日立	4 台	
	東芝	3 台	内 1 台改修済み
エスカレーター	日立	7 台	改修済み

**改修エレベーター仕様**

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
2～5	乗用	インバーター	全自動 群管理方式	1600	24	180	4	21 (B1、1～12、 14～21)	三菱	4号機：車いす仕様

**【改修エレベーター仕様一覧】**

		2～5号機エレベーター仕様		備考	
		改修前エレベーター	改修後エレベーター		
用途		乗用	乗用 (4号機：車いす仕様)		
制御方式		直流可変電圧制御方式	交流可変電圧可変周波数制御方式		
操作方式		全自動群管理方式	全自動群管理方式		
積載質量、定員		積載質量：1600kg、定員：24名	積載質量：1600kg、定員：24名		
速度		180m/min	180m/min		
出入口寸法		幅：1000mm × 高さ：2050mm	幅：1000mm × 高さ：2050mm	1～4階のみ高さ：2100mm	
かご内寸法		間口：1850mm × 奥行：1850mm	間口：1830mm × 奥行：1845mm		
乗場仕様	三方枠	全階	ステンレスヘアライン仕上	既設流用	
	幕板	1～4階	ステンレスヘアライン仕上	既設流用	
	扉	全階	ステンレスヘアラインエッチング仕上		
かご室仕様	天井		鋼板塗装仕上 + 木貼り	鋼板塗装仕上	
	照明		蛍光灯：30W × 12灯	LED照明 (間接照明 + ダウンライト)	
	壁	背面壁	両側部	化粧シート貼り + 木貼り	化粧シート貼り + 木貼り
			中央部	化粧シート貼り + 木貼り	化粧シート貼り + ステンレス鏡面仕上
		側面壁	両側部	化粧シート貼り + 木貼り	化粧シート貼り + 木貼り
			中央部	化粧シート貼り + 木貼り	化粧シート貼り + 木貼り
	袖壁		化粧シート貼り	ステンレスヘアライン仕上	
	出入口上板		化粧シート貼り + 木貼り	ステンレスヘアライン仕上	
	出入口柱		ステンレスヘアライン仕上	ステンレスヘアライン仕上	
	扉		化粧シート貼り	化粧シート貼り	
	幅木		ステンレスヘアライン仕上	カラーステンレスヘアライン仕上	
敷居		硬質アルミ製	ステンレス製		
床		ゴムタイル + 絨毯	ビニル床タイル		
その他		-	手摺：強化木		
		-	かご操作盤カードリーダー内蔵		

クローズアップ



建物外観

# 渋谷ソラスト

黒澤寿文

(Toshifumi Kurosawa)  
東芝エレベーター株式会社  
東京支社 営業技術部

設計監理：清水建設・東急設計コンサルタント設計  
共同企業体

施工：清水建設株式会社

建物用途：事務所、集会場、店舗、駐車場等

敷地面積：4,128.33㎡

建築面積：2,612.16㎡

延床面積：46,954㎡

構造：鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造

階床数：地下1階、地上21階

建屋高、軒高：106.15m

工期：2016年7月1日～2019年3月29日

竣工日：2019年3月29日

開業日：2019年4月1日

## 1. はじめに

JR東日本、東京メトロ渋谷駅から徒歩6分、京王井の頭線神泉駅から徒歩5分の場所に渋谷ソラストが誕生しました。「渋谷ソラスト」の名称の由来は、SORA「空」+SOLAR「太陽」+STAGE「ステージ」の造語で、晴れやかな空の下で多彩なワーカーが活躍する舞台（ワークプレイス）となって欲しいとの意味が込められています。

この建物では、オフィスビルに求められるBCP機能はもちろん、ワーカーのサードプレイスとしても利用可能な充実した共用スペースを多く設置し、ワーカーの知的生産性の高い働き方を促します。また、利便性向上と働き方改革サポートのために、様々なテクノロジーを取り入れたIoTサービスを導入。加えて、植物（緑）の力を活用し、ワーカーの業務効率や生産性の向上、コミュニケーションの活性化等に寄与するオフィス作りを目指す「Green Work Style」を推進しています。

## 2. 建物概要

所在地：東京都渋谷区道玄坂一丁目21番1号

建築主：一般社団法人 道玄坂121

PJM：東急不動産株式会社 (PJM：プロジェクトマネージャー)

## 3. 昇降機設備

昇降機設備は、乗用エレベーター15台、VIP用兼非常用エレベーター1台、人荷用兼非常用エレベーター1台、エスカレーター2台が納入され、オフィス用エレベーターは低層、中層、高層の3バンクとし、各バンク4台の合計12台を設置しています。

2階エレベーターホールの乗場は、壁面の大理石との調和した高級感と落ち着きのあるブロンズカラーステンレス製バイブレーション仕上げを採用しています。

各エレベーターは、間接照明を主体とし、エントランスからエレベーター及び執務フロアの明るさの連続性を意識し計画しています。かご内壁面は特殊な印刷技術を用い、立体的に見える塗装表現としており、磨き仕上げによる高級感ある仕上げとしています。

また、かご内に防災キャビネットをビルトインさせ、高い意匠性と非常時に強い機能性を兼ね備えたエレベーターを実現しています。

クローズアップ



オフィス用エレベーター 2階乗場



オフィス用エレベーター 15階乗場



オフィス用エレベーター 15階乗場



オフィス用エレベーター かご内

エレベーター仕様 (計 17 台)

バンク	号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
低層	EV-1、3、4	乗用	インバーター	全自動群管理方式	1600	24	150	3	9 (2、5～12)	東芝	
	EV-2	〃	〃		1600	24	150	1	10 (2、5～12、21)		車いす仕様
中層	EV-5、6、8	〃	〃	〃	1600	24	150	3	7 (2、11～16)		
	EV-7	〃	〃		1600	24	150	1	8 (2、11～16、21)		車いす仕様
高層	EV-9、12	〃	〃	〃	1600	24	180	2	8 (2、11、15～20)		
	EV-10、11	〃	〃		1600	24	180	2	9 (2、11、15～21)		EV-10：車いす仕様
-	EV-13	人荷用	〃	乗合全自動方式	1150	17	150	1	正面側 3 (1～3) 背面側 17 (4～20)		兼非常用、車いす仕様 VIP用、2方向出入口
-	EV-14	〃	〃	〃	2000	30	180	1	22 (B1、1～21)		兼非常用、車いす仕様
-	EV-15、16	乗用	〃	群乗合全自動方式	900	13	60	2	4 (1～4)	日立	車いす仕様
-	EV-17	〃	〃	乗合全自動方式	900	13	60	1	3 (B1、1～2)		〃

エスカレーター仕様 (計 2 台)

号機	形式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高 (揚程) (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
1、2号機	S1000	透明ガラス	30	1-2	7000	2	フジテック	無人時低速待機運転

クローズアップ



建物外観

# ダイヤゲート池袋

伊藤 真也

(Shinya Ito)

株式会社 日立ビルシステム  
首都圏支社 新設営業技術部

## 1. はじめに

ダイヤゲート池袋は、西武鉄道池袋旧本社ビル敷地と西武鉄道池袋線の線路上空及び線路西側の用地に、日本初の線路を跨ぐ超高層ビルとして誕生しました。

池袋の新たなランドマークに相応しい建物名称は、鉄道の運行図表であるダイヤグラムをイメージさせる特徴的な外観や、菱形に包む鉄骨ブレースが陽光を受ける輝きは「ダイヤ」を、線路を跨いで建ち、電車が建物の下をくぐり抜ける様子を「ゲート」で表しています。

無形無柱空間が実現する池袋エリア最大のオフィス空間を有すると共に、地震の揺れを抑える中間免震構造、非常時の電力供給や防災備蓄倉庫を備える先進のオフィスビルに求められる安全性を有しています。

将来、豊島区が構想する池袋駅東西連絡通路（東西デッキ）とダイヤゲート池袋の2階ダイヤデッキと接続されることで、回遊性、利便性の向上が期待されます。

## 2. 建物概要

所在地：東京都豊島区南池袋一丁目16番15号

建築主：西武鉄道株式会社

設計監理：株式会社 日建設計

施工：大林・西武 建設工事共同企業体

建物用途：事務所、店舗、駐車場

敷地面積：約5,530㎡

延床面積：約49,661㎡

構造：S造（一部RC造、SRC造）

階床数：地下2階、地上18階

建屋高、軒高：99.98m

工期：2015年7月～2019年2月

開業：2019年4月

## 3. 昇降機設備

昇降機設備は、エレベーター16台、エスカレーター2台の合計18台が設置されています。

西武池袋線を跨ぐダイヤデッキに設置されるエレベーターは、昇降路壁がガラスで覆われ、乗場三方枠は、縦枠見付け幅を大きくして、ホールランタンとホールボタンを設置し、昇降路のガラス壁と縁を切ることですっきりとしたデザインとしています。

かご内天井は全面光幕を採用し、壁はステンレスパイプレーション仕上げで統一し、かご戸及び乗場戸には大型の防犯窓が設置され、安全、安心に利用いただける仕様となっています。

U1号機エレベーターのかご内は、天井の全面光幕からの照光が、濃色の鋼板メタリック全ツヤ塗装で仕上げた壁を照らし、落ち着いた空間となっています。

エスカレーターは、2階まで吹き抜けとなった1階エントランスに設置され、黒色に塗装されたアルミパネルのエスカレーター外装板は、エントランスのデザインと調和しています。またエスカレーターの両側には、ガラス製の落下防止フェンスが施され、安全面に配慮しています。また、無人時微速運転を採用し省エネルギー化も図られています。

クローズアップ



G1号機エレベーター 外観



G3号機エレベーター2階乗場



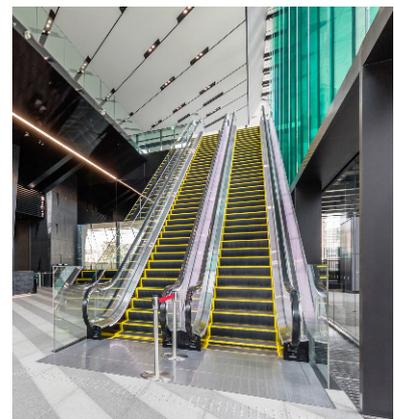
G1号機エレベーターかご内



U1号機エレベーター1階乗場



U1号機エレベーターかご内



A1、A2号機エスカレーター

エレベーター仕様 (16台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
L1 ~ 4	乗用	インバーター	全自動群管理方式	1600	24	210	4	L1、3、4 : 9 (1、2、4 ~ 10) L2 : 10 (B1、1、2、4 ~ 10)	三菱	中間免震対応
H1 ~ 6	〃	〃	〃	1600	24	240	6	H1 ~ 4、6 : 11 (1、2、10 ~ 18) H5 : 12 (B1、1、2、10 ~ 18)		〃
E1	人荷用	〃	乗合自動運転	1150	17	120	1	19 (B1、1 ~ 18)	日立	兼非常用、中間免震対応
E2	〃	〃	〃	1600	20	120	1	20 (B1、1 ~ 18、P1)		〃
U1	乗用	〃	〃	900	13	60	1	3 (B1、1、2)		車いす仕様
G1	〃	〃	〃	900	13	60	1	2 (正1、背2)		2方向出入口、車いす仕様
G2	〃	〃	〃	900	13	60	1	2 (B1、2)		車いす仕様
G3	〃	〃	〃	900	13	60	1	2 (B1、2)	〃	

エスカレーター仕様 (計2台)

号機	形式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高 (揚程) (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
A1、A2	S1000	透明ガラス	30	1-2	8150	2	日立	無人時微速待機運転

海外物件紹介



建物外観

# 台北南山広場

工藤 友里

(Yuri Kudo)  
三菱電機株式会社  
ビルシステム海外事業部  
ビル海外計画部

下田 匡

(Tadashi Shimoda)  
三菱電機株式会社  
稲沢製作所 営業部

## 1. はじめに

「台北南山広場」は、台湾台北市信義(しんぎ)地区に建設された、高さ272mの大規模な超高層複合施設です。信義地区は大型オフィスや商業施設、大規模な会議や展示会に対応可能な世界貿易センターなど、国際都市としてのインフラ整備が積極的に進められているエリアで、台北南山広場は、街の新たなランドマークとして2018年6月に開業しました。

施設は、オフィス棟1棟(地上48階建て)、商業施設棟1棟(地上7階建て)と文化施設棟1棟(地上1階建て)から構成され、事業主である南山人壽のコーポレートロゴである「山」をモチーフに、3棟を一体化した姿に「連峰」がイメージされています。文化施設棟には多目的ホールのほかオフィスタワーのエントランスを併設し、開放感のあるエントランス空間を演出しています。また商業施設は、大きな箱を3層にずらして重ねたデザインで、外装には台湾の花である梅をイメージしたステンレスアートが施され、昼間はシルバー、夜間は照明でゴールドに輝き、街の賑わいに一層の彩りを添えています。建物の北側に、周辺地区と接続する24時間開放のペDESTリアンデッキを整備し、商業施設棟には緑化されたテラスが隣接する、公園と一体となった「緑の丘」を構築することで人の流れを誘引し、新たな賑わいを創出しています。

## 2. 建物概要

所在地：台北市信義區松仁路100号  
建築主：南山人壽保險股份有限公司  
設計監理：株式会社 三菱地所設計、  
瀚亞國際設計(台湾設計院)

施工：互助營造

建築用途：オフィス、商業施設、文化施設、  
バスターミナル

敷地面積：17,708㎡

延床面積：192,891㎡

構造：地下RC造、地上S造

階床数：地下5階 地上48階(塔屋2階)

建屋高、軒高：272m

竣工：2018年1月

開業：2018年6月

## 3. 昇降機設備

昇降機設備は、エレベーター 27台、エスカレーター 45台が納入されています。

オフィスタワーには台湾初のセキュリティーシステムと連動した行先予報システムが導入されており、利用者がセキュリティーゲートを通じた際の認証情報をもとに、利用者の行先階情報をあらかじめ登録することで、同じ行先階への複数の利用者を同じエレベーターに誘導しています。

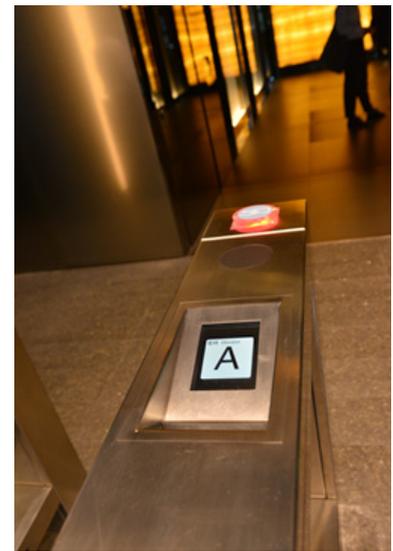
また、従来のダブルデッキエレベーターでは、上かごまたは下かごの片方のかごの乗客だけ乗降する場合、もう一方のかごの乗客はかご内で待機する必要があるという課題がありましたが、行先予報システムを導入した本ビルはダブルデッキエレベーターは、上かごと下かごの乗客がなるべく同時に乗降するよう、最適なエレベーターを配車しており、乗客の待機状態を極力軽減した高効率な輸送を実現しています。

また、商業施設の一部エスカレーターにはポストレス自動運転(停止待機型及び低速待機型)が採用されており、意匠性を損ねることなく、省エネルギーにも貢献しています。

海外物件紹介



オフィス棟ゲート



ゲート LCDディスプレイ

エレベーター仕様 (計 27 台)

棟	バンク	号機	用途	運転方式	積載 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min.)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
オフィス棟	-	8	人荷用	乗合全自動方式	3,500	53	180	1	49 (B4 ~ B1, 1 ~ 4, 6 ~ 24, 26 ~ 44, 46 ~ 48)	三菱	
	-	9, 10	乗用	全自動群管理方式	1,600	24	360	2	49 (B4 ~ B1, 1 ~ 4, 6 ~ 24, 26 ~ 44, 46 ~ 48)		
	低層	11 ~ 16	"	"	1,600 / 1,600	24/24	240	6	20 (2/3, 6/7, 8/9, 10/11, 12/13, 14/15, 16/17, 18/19, 20/21, 22/23)		ダブルデッキ、セキュリティ連動先行予報システム付
	高層	17 ~ 22	"	"	1,600 / 1,600	24/24	360	6	20 (2/3, 26/27, 28/29, 30/31, 32/33, 34/35, 36/37, 38/39, 40/41, 42/43)		"
	-	23	"	乗合全自動方式	1,150	17	90	1	4 (B2, B1, 1, 2)		
	-	27	"	"	800	12	60	1	3 (2 ~ 3, RF)		
ロビー	-	24	"	全自動群管理方式	1,150	17	105	1	5 (B1, M, 1 ~ 3)		
	-	25	"	"	1,150	17	105	1	8 (B4 ~ B1, M, 1 ~ 3)		
	-	26	人荷用	乗合全自動方式	1,350	20	90	1	8 (B4 ~ B1, M, 1 ~ 3)		
商業施設棟	-	1 ~ 3	乗用	全自動群管理方式	1,150	17	150	3	11 (B4 ~ B1, 1 ~ 7)		
	-	4, 5	"	"	1,000	15	150	2	9 (B4 ~ B1, 1 ~ 5)		
	-	6	人荷用	乗合全自動方式	2,500	36	105	1	9 (B2, B1, 1 ~ 7)		
	-	7	荷物用	"	3,000	-	60	1	12 (B4 ~ B1, 1 ~ 7, RF)		

エスカレーター仕様 (計 45 台)

棟	号機 (客先号機)	形式	欄干意匠	速度 (m/min.)	サービス階	階高 (揚程) (mm)	勾配 (度)	台数 (台)	メーカー	備考
商業施設棟	#A1, A2	S1000	透明ガラス	30	B3-B2	7,050	30	2	三菱	
	#A3, A4	"	"	30	B2-1	7,700	30	2		
	#A5, A6	"	"	30	1-2	7,200	30	2		
	#A7, A8	"	"	30	2-3	7,200	30	2		
	#A17, A18	"	"	30	3-4	7,200	30	2		
	#A19, A20	"	"	30	4-5	6,000	30	2		
	#A21, A22	"	"	30	5-6	7,000	30	2		
	#A23, A24	"	"	30	6-7	6,000	30	2		
オフィス棟	#A25, A26	"	"	30	B5-B4	3,300	30	2		自動停止待機運転
	#A27, A28	"	"	30	B4-B3	3,700	30	2		"
	#A29, A30	"	"	30	B3-B2	7,050	30	2		"
	#A31, A32	"	"	30	B2-1	7,700	30	2		"
	#A33, A34	"	"	30	1-2	7,200	30	2		"
	#A35, A36	"	"	30	2-3	7,200	30	2		
	#A37, A38	"	"	30	3-4	7,200	30	2		
	#A39, A40	"	"	30	B3-B2	7,050	30	2		自動低速待機運転
	#A41, A42	"	ステンレスパネル	30	B2-1	7,290	30	2		"
	#A43, A46	"	透明ガラス	30	2-3	4,800	35	4		"
ロビー	#A47, A48	"	"	30	2-3	6,600	30	2		"
	#A49, A50	"	"	30	B2-1	7,700	30	2		"
	#A51, A53	"	"	30	1-2	7,200	30	2		"
	#A52	S800	"	30	1-2	7,200	30	1		"

技術講座

# 小規模建物用小型エレベーター向け 使用回数表示機能の開発

山内 厚志 (Atsushi Yamauchi)  
三菱日立ホームエレベーター株式会社  
技術部 開発課

## 1. はじめに

超高齢化社会に対する警鐘が鳴らされている昨今、社会福祉の観点において高齢者や障がい者等の自立支援策や、介護現場の省力化といった様々な課題が提起されています。これらを解決する手段のひとつとして大小あらゆる建物のバリアフリー化が望まれており、個人住宅や、比較的小規模な建物における縦の移動を快適にするホームエレベーターや小規模建物用小型エレベーター（以下、小型エレベーター）に注目が集まっています。

小型エレベーターは、老人ホームやグループホーム、サービス付き高齢者向け住宅といった福祉施設が増加していることを背景に近年需要が高まってきている製品です。図1は、国内の小型エレベーター設置台数の推移を示したものです。

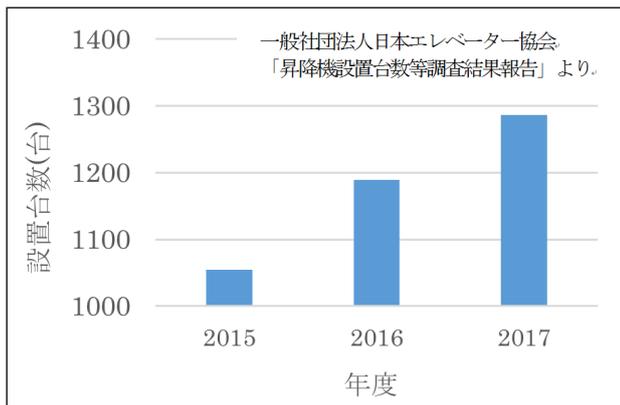


図1 小型エレベーター設置台数推移

当社では、方向性乗合全自動運転方式を採用して運行効率を追求した小型エレベーターの新機種スイ〜とモアプラスを発売しました。図2に本機種の乗場イメージを示します。

スイ〜とモア プラスには、運行管理者の負荷軽減を

目指して新規開発を行った「使用回数表示機能」を搭載しています。本稿では、主にこの機能の開発背景と機能概要について紹介します。



図2 スイ〜とモア プラスの乗場イメージ

## 2. 小型エレベーターの法令上の取り扱い

小型エレベーターの積載荷重は、「『ELEVATOR JOURNAL (エレベータージャーナル)』 No.13 2017.1 P.16-P.20 小規模建物用小型エレベーター福祉のまちづくり条例対応機種開発」に解説されているとおり、緩和規定の対象となっています。「建築基準法施行令第129条の5第2項」に記載の表による積載荷重を用いる代わりに、同項中で述べられている「用途が特殊なエレベーター」

技術講座

ターで国土交通大臣が定めるもの」として、「平成12年建設省告示第1415号第三号」に記載されている積載荷重を適用しています。

この緩和によって、かごの床面積に対して一般の乗用エレベーターよりも低い積載荷重を定めることができます。具体的には、定格積載荷重200kgという低容量でありながら、かごの床面積は車いす利用者とその介助者が同時に乗車できる広さを確保することが可能となるため、高い利便性を確保した製品とすることができます。

3. 開発背景

小型エレベーターは、上述のように用途が特殊なエレベーターという前提で積載荷重の緩和を受けていますので、原則として一般社団法人日本エレベーター協会標準JEAS-712（標 12-02）において規定されている小型エレベーターに関する標準を満たす必要があります。このうち、特にエレベーターの管理に関する標準について要約すると次のようになります。

<要約>

- ・利用者がある程度限定された小規模な建築物に設置すること。
- ・エレベーターの運行管理者を選任すること。
- ・上記運行管理者は、定員やメーカーの定めた使用回数を把握し、適切に運用すること。

従いまして、小型エレベーターの運行管理者は、メーカーの定めた使用回数を把握し、これらが守られるよう適切な管理をしなければならないことが分かります。しかしながら、実際にはエレベーターの正確な使用回数を常に把握することは容易ではありません。エレベーターから目を離すことができなくなってしまうし、急な外出などが必要になった場合は急きょ代理を立てなければなりません。

そこで、小型エレベーターの更なる普及のためには、利用者の快適性はもちろんのこと、それに加えて運行管理者の負担軽減も重要な要素になると考え、そのひとつとして運行管理補助機能である「使用回数表示機能」の

開発を行いました。

4. 使用回数表示機能について

4.1 機能概要

図3にスイ〜とモア プラスのかご室イメージを示します。操作や表示を行う部分は図中に示すとおり、側壁にまとめられています。



図3 スイ〜とモア プラスのかご室イメージ

また、図4は操作、表示部の拡大図です。上部の情報表示パネルは、通常時エレベーターの運転状況に合わせたメッセージを表示します。使用回数表示機能は、図中のスイッチボックス内にある「使用回数表示」ボタンを押下している間、情報表示パネルの表示内容を使用回数に関する情報に切り換えて表示する機能です。なお、この機能は運行管理者が利用する機能であるため、鍵付きのスイッチボックス内にボタンを格納し、利用を制限しています。

技術講座

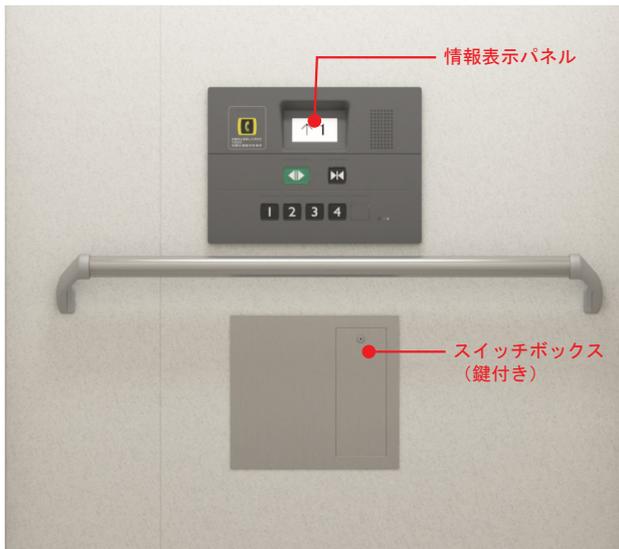


図4 操作、表示部拡大図

4.2 画面詳細

図5に使用回数表示機能の画面を示します。

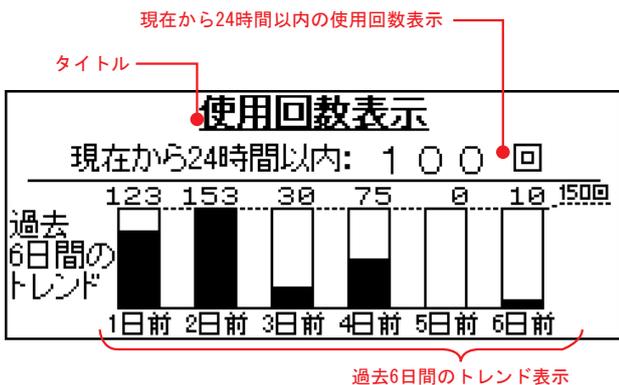


図5 使用回数表示画面

タイトル部は、現在の画面が使用回数表示であることを分かりやすく周知するものです。

画面上部には、現在から24時間以内の使用回数を表示しています。日々の運行管理においては、この部分が常に定格使用回数（本機種の場合1日あたり150回）を超えないように管理していくことで、年間を通じて1日あたりの使用回数を守られることになります。

画面中央から下部にかけては、数値と棒グラフによって過去6日分の使用回数トレンドを表示する部分となっ

ています。1日あたりの定格使用回数に達している場合、グラフも最大の表示となるため、視覚的にエレベーターの使用状況がわかります。一方、グラフ上部にある使用回数表示では、150回を超える値（999回まで）もカウントし、表示することができますので、正確な使用回数も把握することができます。

例えば、トレンド表示を見て、ここ数日の使用回数が200回程度となっていた場合は、今後数日は100回程度になるよう、本機種が別途備える「休止モード」を利用してエレベーターの使用を制限するなど、日常の使用回数管理に役立ちます。

4.3 その他の機能

情報表示パネルには、各種管制運転のときなどに非常用のメッセージが表示されます。このようなときは、使用回数表示ボタンを押しても、表示は切り換わず、非常用のメッセージが優先されるようにしています。

また、保守及び点検時の電源遮断や、長時間停電した場合でも、使用回数データが消失しないよう、定期的にメモリの不揮発領域にバックアップする機能を備えています。

5. おわりに

小型エレベーターは、高齢者や障がい者の方を含むすべての人が快適に生活できるバリアフリー社会の実現に向けて、ますます普及が期待される製品であると考えています。当社では、エレベーター利用者と運行管理者の両方にご満足いただける製品を目指して、今後も開発を続けてまいります。

以上

<参考文献>

- (1)「ELEVATOR JOURNAL (エレベータージャーナル)」  
No. 13 2017. 1 P. 16-P. 20 小規模建物用小型エレベーター福祉のまちづくり条例対応機種開発
- (2)一般社団法人日本エレベーター協会標準JEAS-712  
「小規模建物用小型エレベーターに関する標準」  
(標12-02)

昇降機業界で活躍する女性の紹介

*Ele-Komachi*  エレ小町 No.22

1. プロフィール

名 前：林 玲子  
 な ま え：はやし れいこ  
 会 社 名：パナソニック ホームエレベーター株式会社  
 所 属 部 署：営業部 北海道エリアグループ  
 職 種：営業  
 入 社 年 度：2005年度



2. 担当業務について

私は北海道エリアの営業部門に所属し代理店様、ビルダー様、設計事務所様、そしてお施主様への提案推進から販売までを担当しております。私は昨年より、その営業部門の責任者をしております。

私は学生時代、建築の勉強をしていたわけではなく、社会人となりシステムキッチンを中心としたショールームアドバイザーからキャリアをスタートさせました。その業務の中での様々な経験と色々な方からのご指導を通じて建築知識を習得してきました。当時ホームエレベーターは提案商品の一品にすぎませんでしたが、現会社に在籍することになり、今は一番大切な商品となりました。

人と会話する事が大好きなので毎日の打合せが楽しみです。打合せ後に“ありがとう”と全ての方から笑顔を返して頂けるように心がけています。同じ時間を共有した方が、良かった！と思っただけだと幸せですよ。

現在、組織運営や課題解決等マネージャーとしての更なるスキルアップを目指し、勉強中です。

3. 趣味など

子育てもそろそろ終盤に入り、子供との共有時間が少なくなり、親も独り立ちをしなくてはと思いウン十年ぶりにゴルフを始めました。運動不足もあり歩くことを始めようとスタートしましたが走っていることがまだ多いです。今後も楽しめるゴルフを続けていければと思います。

もう一つ、家族共通の趣味があります。5年前にスキューバダイビングのライセンスを取りました。

北海道の海は冷たいので年に2回ぐらいは暖かいところで潜ることが出来ればと取得しましたがなかなか時間がとれず・・・、です。

4. 読者へのメッセージ

私のモットーは“仕事は楽しく前向きに”です。日頃の生活でも共通するかと思います。いつも、素直にそして真剣に何事にも一所懸命に頑張りたいものです。が、一人では前に進めません。家族そして仲間がいればこそです。色々な方に助けていただき進んできました。仕事を続けて良かったと思います。本当に感謝です！子育て、介護、そして自分自身が自立して動く事にも必要な商品、“ホームエレベーター”に出会えたことにも感謝です。

一家に1台、一棟に1台を目指します！

皆様よろしくお祈りします。

5. 上長のコメント

北海道エリアの営業部門責任者としての活躍は頼もしい限りです。これまでの営業経験を通して築き上げた人脈が現在の営業活動に大いに生かされていると思います。販売計画達成に向けたバイタリティーあふれる姿勢が周囲の方々からも協力頂ける要因だと思います。厳しい市況が続きますが本人メッセージの通り「一家に1台、一棟に1台」をめざして頑張ってください。

今後の活躍を大いに期待しています。

昇降機業界で活躍する男性の紹介

*Ele-Samurai*



エレ侍 No.5

1. プロフィール

名 前：平井 智之  
 な ま え：ひらい ともゆき  
 会 社 名：フジテック株式会社  
 所 属 部 署：Big Step製作所 生産部  
 職 種：エスカレータ組立  
 入 社 年 度：2009年度



2. 担当業務について

私が在籍するエスカレータ生産部は、5つのグループ(P1~P5)で構成されており、私はP4グループという工場組立ラインで日々業務を行っています。P4グループは製造するラインの最終工程に位置し、100を超える部品を組み上げて“お客様の元に届く一歩手前”の製品を作っています。そのため、日々の業務に細心の注意を払い、お客様に製品だけでなく「安全、安心」をお届けする事が私達P4グループの使命であると思っています。

「安全、安心」をお届けするには、高い品質、そして高いレベルの仕事が要求されますが、先輩方が長年にわたって築き上げてきた技術、経験を受け継いで、その要求に応えていきます。

今後もその受け継いだ全てのスキルを超えられるよう、高い意識を持って業務に取り組みたいと思います。

3. 仕事のやりがい

工場組立においてやりがいを感じる場面は、他グルー

プと連携を図り、非常に高いレベルの製品を作り上げた時です。

部品の組立公差が基準内に納まっていたとしても、そこで満足するのではなく、“今日より明日。一歩前進”の意識を常に持ち、お客様に認められる製品、喜ばれる製品づくりを目指しています。日々、そして時代と共に変化するお客様のニーズに柔軟、迅速に対応し、「当社の製品はこれでいいのか？」と疑問を持つことなく、胸を張って「これが当社の製品です」と言える製品をつくることのできるまで邁進して参ります。

もう一つ意識しているのは“心で仕事をする”と言う事です。お客様の元に届いた製品は、非常に繊細な感覚を持って見て触れていただいていると感じていますので、我々も細部まで高い意識を持って製造しています。その“心意気”まで感じて頂けたら我々製造する者の「ものづくり屋」冥利に尽きます。

今後も技術の向上、意識の向上に努めて参ります。

4. 趣味など

私の最近の趣味は将棋です。藤井聡太七段の対局を観て、将棋の楽しさや奥深さを知りました。

まだまだ、にわかファンの一人ですが、“先を読む”という事は何事にも大切だと思いますので続けていきたいと思っています。

今、将棋の世界では人間の方がAIより優れています。今後、AI社会になっていこうこの世の中で人間の力を見せつけていけたらと、将棋の初心者ながら願っています。

5. 上長のコメント

入社後、エスカレータ組立の主戦力として、改善、安全、部下指導を含め高い意識を持って活躍をしてくれています。

今後は、フジテックのキーマンとして更なる飛躍を期待しています。また、チームを引っ張る能力を十二分に持っていますので、将来が楽しみな人材の一人として大いに期待しています。

読者からの寄稿 <<ミスターEのアメリカエレベーター情報>>

## 第8回 「アメリカンエレベーター病」 後編

こんにちは、ミスターEです。前回につづいてアメリカンエレベーター病を取り上げます。前編は1. エレベーター安全注意欠如障害（携帯電話に気をつけて）2. 巨大国土症候群（国土が広いとたいへん）3. エレベーターエキスポ物欲症（グッズに心を奪われる）4. 日本食でない無理病（現地食が無理なら持参か中華）でした。では後編です。

### 5. 荷物の重量に泣く病

日本から大量に持参した食料を食べきって、帰りの荷物は軽くなりそうに思えます。しかし、私がよく参加する訓練では、分厚い規定集が何冊も支給されるため、行きよりも帰りの方がスーツケースが重くなります。お土産を入れるとほぼ確実に重量オーバーです。そのまま航空会社に預けた場合、超過料金として請求される金額はおよそ100～200ドル（約11,000～22,000円）。さらりとは出せない金額です。

この「航空会社受託荷物超過料金涙腺異状病」を治す方法は、スーツケースを2つ持参すること（またはスーツケース1つと大きな破れにくい袋）です。スーツケースは1つしか預けられないと思われるかもしれませんが、日本とアメリカの間の国際路線は、エコノミークラスでもスーツケース2つまで追加料金なしで預け入れが可能です。つまり2つ持っていきさえすれば、この病の予防対策としては完璧です。覚えておいて損はありません。

### 6. 時差ボケ解消努力症（賞）

アメリカ東海岸の昼と、日本の夜はほぼ反対になりますので時差ボケはキツイものになります。気合いでなんとかしたいところですが、座学していると打ち勝つことができない時間帯が「午後」に現れます。興味をもって講義をきいているのに、前ぶれもなく意識を失ってしまうことがあります。こんな時アメリカ人は何も言わずに

立ち上がり、通路に出て、眠気がおさまるまで立っています。これはアメリカの学校ではよくある光景なんだそうで、教官も何も言いません。居眠りして授業の内容を覚えてないよりずっとよく、輸入したい習慣だと思います。

時差ボケを緩和するのに、私が実行している方法を3つご紹介します。

1つめは機内食を我慢することです。機内で食事が提供される時間は、いつもの食事のタイミングではありません。1回多かつたりもします。このことによって胃腸に負担がかかると、時差ボケが長引きます。もったいない気持ちはわかりますが、お腹がすいてないときは機内食を抜くか、ほんの少しだけ食べるようにすることをお勧めします。「やや空腹気味」がコツです。

2つめはメラトニンというサプリメント（写真4）を飲むことです。これは日本では手に入りにくいので、アメリカに到着してからスーパー、ドラッグストアなどで買っています。人間の脳の中で夜になると分泌される物質だそうで、それを補うことで自然な眠りにいざなわれます。就寝の20分前くらいにとるとよく眠れ、目覚めがスッキリする印象です。1ボトル7ドル（770円）弱くらいからありますが、高価な20ドル（2200円）以上のもの方がよく効く印象です。



写真4 メラトニン

読者からの寄稿 <<ミスターEのアメリカエレベーター情報>>

3つめは、前日から現地の時間に合わせて行動することです。私は帰国の前夜から日本の生活時間にもどし、ホテルで寝ないこともあります。帰りの飛行機内が消灯になっても、映画を見たりして極力寝ません。そうして帰国し、夜になって寝ると翌朝からかなり快調です。

NAESA常任理事のボブさん（前編の写真）、ごめんなさい。私はあなたが講師をつとめた講習に参加中、時差ボケ病を克服する方法をまだ編み出していませんでした。そのせいで本当にしかたなく、長い時間、目のとびらが閉じ、首が垂直に昇降する状態になったことをお詫びします。

7. エレベーターに閉じ込められるとかかる病

私はエレベーターに閉じ込められた経験があります。会社が社宅にしていた建物のエレベーターで、自分の住む部屋へ上がる途中のことでした。時々ハイになる病気だったのか、エレベーターの中で何度か激しくジャンプしてみました。するとかごは急停止し、閉じ込められてしまいました。

ところが非常電話のボタン（写真5）を押せども待っても、応答はありません。20分くらいしてやっと管理人らしき人が応答しましたが、その間は絶望に近い気持ちでした。さらにそこは英語圏の国。当時の私の英語力はお粗末なもので、「エレベーター、停まった。急いで。」程度の表現力です。そのうち小用を我慢できなくなり、それを伝えたいのですが、どう言ったらいいかわからない。だって学校でも、英会話教室でもそんな表現は習わなかったんですから。思いつく単語から出た言葉は I want pee.（私はオシッコが欲しい）でした…。

簡単なトラブルに対応できる英会話くらいは、学校の授業で身につけられるようになったらいいですね。こんな情けない英語で恥をかくのは、私だけで結構です。

「もう漏れる」と思い始めたころ、ごつい耐火服に、ふちの広いヘルメットを着用した消防隊員がドアを開けてくれました。私の両手を取り、1.5mくらい引き上げやっとな救出です。閉じ込められてから約45分がたっていました。

それから約1ヵ月間、私はエレベーターに乗ることができませんでした。救出までの時間「45分」と聞いて「まあそんなものだろう」と思われるかもしれませんが。しかしそんな短時間でも十分トラウマになります。乗れるようになってからも、エレベーターに乗る前にトイレを済ますのが習慣になったくらいです。

私が今働く職場では、清掃員の方が閉じ込められたことがあります。その方はかご内にあった非常停止ボタンを誤って押してしまったようです。それでパニックになったのか、かご内の非常用電話ではなく、携帯電話で自分の会社に連絡をされました。そこから休暇中の私の携帯に「どうしましょう」と電話がかかかってきて、それをまた伝えて、とりレーしている間に時間は過ぎ、思った以上に救出に時間がかかってしまいました。非常用電話のボタンを押さえさえすれば、すぐに救助が出動する体制になっていたのですが…。その方は翌日仕事を休まれたそうです。閉じ込められたショックはそれほど大きいのです。

ですから閉じ込められたとき、少しでも早く救出できる体制作りと、その技術を特定の人たちに広めることが大事だと考えています。

それではいざというときに閉じ込めの救世主になるのは誰なのでしょう？ 次回はエレベーター業界のヒーローについて書こうと思います。情報の脱線が多いため、次回からタイトルを「アメリカ“と”エレベーター“の”情報」に変えましょうか！？ではまた！



写真5 非常用電話（イメージ）

昇降機 Column ③

# “動く歩道”の生い立ちなど

— 俳句と、マンガと、輸送量 —

■コラムニスト、エスカレーター技術研究者 齋藤 忠一



## ■俳句—〈動く歩道 動く夜空や 裘〉

これは、俳人、森山いほこさんが3年前、自身の句集「サラダバー」(朔出版)で発表した一句。〈裘〉は〈かわごろも〉と読み、毛皮で作った防寒衣のこと。

この作品、読売新聞の「詩歌コラム」〈四季〉欄に掲載され、その道に疎い筆者「だからどうした」感が消えない、と思いつつも俳壇の重鎮、長谷川権氏が選者と知り、その感想は即引っ込めることにした。

また、10年も前だろうか—同じ読売新聞の人気マンガ「コボちゃん」(植田まさし作)で、歩道を歩いていた本人、踏むとガタガタする敷石を見つけて「動く歩道があったよ」と喜び、一緒だった「ミネ」おばあちゃんが「違うでしょ」と言ったシーンを記憶している。

長い“昇降機人生”の筆者、俳句でも何でも“動く歩道”を取り上げられたのが嬉しいだけかも知れない。

小欄の3回目は、エスカレーターの仲間“動く歩道”のあれこれについて述べてみたいと思う。

## ■“動く歩道”の生い立ち

そもそもこの動く歩道、国内メーカーが〈オートライン〉とか〈トラベーター〉などを愛称としているが、世界共通語は〈ムービングウォーク、moving walk〉で、1953年(昭28)頃アメリカで誕生したゴムベルト製が第1号機とされている。一方、ある文献には「わが国では1959年(昭34)に開催された東京見本市会場の日立特設館に、見学者を屋外の歩道から館内に導く設備としてゴムベルト式が設置され、初めてのサービス運転が行われた」とある。その2年後には日米航路の客船として30年間の就役に終止符をうち、海の資料館に改装されて横浜港に横付けされた〈氷川丸〉の見学者通路に設置された記録もある(写真中央が動く歩道、日立提供)。

そして、1970年(昭45)の大阪万博で本格的に活躍しこの時、国産の多くがゴムベルト式から金属踏板的エスカレーター式へと変更され、今日に至っている。

法規定の面では、多少の構造的相違はあるものの、エスカレーターを水平あるいは12度まで傾斜させた形であ

るため、これが国内で誕生してから約20年間の80台については〈エスカレーターに準じる〉扱いであった。

動く歩道向けの法規定は、1980年(昭55)に公布された「階段を有しないエスカレーターの構造基準」を標題とする「建設省告示第1110号」とされている。

## ■国内における動く歩道の現状—

国内におけるエポックメイキングな新製品としては、1981年(昭56)のショッピングカートを利用して階床移動できる店舗用動く歩道や1989年(平1)横浜のみなとみらい地区に設置された踏板幅1,400mmの広幅形が挙げられる。また、2005年(平17)に中部国際空港に設置された車いす同士の並列利用を可能にした踏板幅1,600mmの広幅、傾斜形などがあり、今日では全国の空港施設を中心に1,100台超の動く歩道が稼働している。

## ■困ったのは、ゴムベルト式の輸送量

そうした経緯の動く歩道、法規定面での「空白の20年間」、実務面で困ったのはゴムベルト式の輸送量であった。現在、ごく一般的な機種であるパレット式においては、エスカレーターと同様に〈踏板長さ=400mm(0.4m)〉と置いて次の式で計算される。

$$Q = (60V / 0.4) \times n$$

ここに、Q：輸送量(人/時)、V：速度(m/分)、

n：同時に乗り込める人数(通常幅で2人)

それに対して、社内教育や技術講演会でよく質問されたのは「踏板に切れ目のないゴムベルト式はどう計算するのか」、「広幅形はどう考えるのか」の2点。

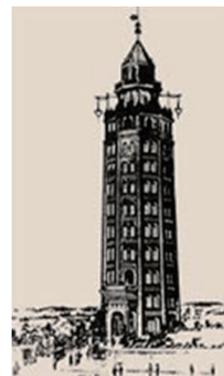
正解は、ゴムベルト式でも「踏板長さ=400mm」、また「ハンドレールの利用を考え、広幅形でも最大2人並び」とする(「技術基準の解説」本から読みとれる)。

以上、標準的な〈踏板幅1,000mm、速度40m/分〉では12,000人/時の大量輸送が可能で、ジャンボジェット機の定員以上、新幹線N700系1編成(座席数1,300強)の10倍ほどの輸送量が大きな魅力になっている。

来る「2025年大阪万博」での活躍に期待したい。

## 11月10日は「エレベーターの日」

1890年（明治23年）11月10日、東京、浅草に完成した12階建ての展望塔「凌雲閣」に、日本初の電動式エレベーターが設置されました。日本エレベーター協会では、この11月10日を「エレベーターの日」と定め、昇降機の安全、安心な利用のためのキャンペーンを実施しています。



凌雲閣（りょううんかく）



ベータくん

エスカちゃん

### 編集後記

新しい元号に入り既に2ヶ月経ちました。新たな未来が開けてきたような気分になっているのは私だけではないかもしれません。

東京2020オリンピック競技大会のチケット抽選申込みをされた皆様、結果はいかがでしたでしょうか？同じく東京2020パラリンピック競技大会のチケット申込みは夏から開始とのことですが、原稿を書いている今現在（2019年6月）、まだ開始日時が公表されていませんがオリンピック大会のチケット申込みの時と同じく、申込みの時から既に競技を観戦しているような気分になるのでしょうか。今年行われるラグビーワールドカップ2019日本大会、そして来年の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会と新元号の幕開けにふさわしいイベントが続き、新しい時代の到来を更に盛りたててくれることと思います。

今年も既に7月、これから夏本番を迎えます。10月に予定されている消費増税の影響もあり、建築業界は住宅を中心に更に忙しさが増してきております。暑さ対策や健康管理には十分ご留意され、今年の夏を元気に乗り切ってまいりましょう。（武藤 記）

### ELEVATOR JOURNAL 2019年7月発行 No.25

編集委員 ◎委員長 ○副委員長

◎廣岡 正自	日本オーチス・エレベータ株式会社
◎志賀 正己	三菱電機ビルテクノサービス株式会社
比佐 匠一	フジテック株式会社
羽坂佳穂里	三菱電機株式会社
堀越 隆晴	東芝エレベータ株式会社
山口 貴史	株式会社日立ビルシステム
武藤 健司	パナソニックホームエレベーター株式会社
佐藤たかし	三菱日立ホームエレベーター株式会社

発行者 橋本安弘

発行所 一般社団法人日本エレベーター協会

〒107-0062 東京都港区南青山5-10-2（第2九曜ビル）

TEL (03) 3407-6471 (代) FAX (03) 3407-2259

URL : <http://www.n-elekyo.or.jp>

㊦ 一般社団法人日本エレベーター協会